

平成 18 年度環境・安全技術系活動報告

堀木 幹夫

工学研究科・工学部技術部 環境・安全技術系

1. はじめに

環境・安全技術系は技術長 1 名、前任専門技術職員 1 名、環境技術班（班長 1 名、班員 3 名）、放射線技術班（班長 1 名、班員 4 名）、安全技術班（班長 1 名、班員 2 名）、総計 14 名で構成されている。

2. 環境・安全技術系の実施業務

環境・安全技術系は主たる任務として、工学研究科および全学の環境・安全・衛生に関わる共通の業務を遂行している。同時に、各専攻や講座からの業務依頼にもきめ細かく対応している。

工学研究科等の環境・安全に係わる共通の業務は、環境安全管理室、放射線安全管理室、工学研究科核燃料計量管理室、全学の核燃料管理施設等の室に技術職員を派遣し、実行している。室ではないが、Co-60 照射施設の管理、工学研究科実験系排水樹の保守管理、全学環境安全衛生管理室実施の有機廃液等の回収業務、災害対策室、全学の省エネルギー関連の研究会の業務も実施している。

専攻等からの依頼業務について以下に列記する。

量子エネルギー工学専攻からの依頼（工作室等共通室の管理、各種委員会支援、放射線施設の放射線管理）、航空宇宙工学専攻からの依頼（危険物倉庫の管理、講座支援）、環境学研究科からの依頼（地震観測機器の維持管理、学生実験支援等）、社会基盤工学専攻からの依頼（情報機器管理支援、学生実験支援）、エコトピア科学研究所からの依頼、等。

環境・安全技術系において、工学研究科や全学の共通業務の割合は高く、平成 17 年度の実績として、3/4 に到達している。また、系の構成員の多くが、安全・衛生に関する資格を取得し、その業務を遂行している。

3. 系の運営に関わる業務

3.1 系業務調整会議

系の運営を議論する目的で、今年度は以下の様に 2 ヶ月程度の間隔で定期的に業務調整会議を開催した。

- | | | |
|-------|-------------------|--|
| 第 1 回 | 平成 18 年 5 月 26 日 | 平成 18 年度の環境系の業務受付状況、平成 18 年度の研修、業務調整会議の今後の持ち方、系における業務実施の考え方について |
| 第 2 回 | 平成 18 年 7 月 21 日 | 技術部の研修、系講習会、図書費・技術開発費の執行、系の業務の実施、退職者補充、系専門委員会の開催 |
| 第 3 回 | 平成 18 年 9 月 13 日 | 系講習会、第 2 回系業務報告会、図書費・技術開発費の執行、排水樹保守管理作業室の整備、第 1 回系専門委員会、系の業務の実施 |
| 第 4 回 | 平成 18 年 11 月 20 日 | 図書費・技術開発費の執行、第 3 回系業務報告会、名古屋大学総合技術研究会、排水樹保守管理業務の実施、その他 |
| 第 5 回 | 平成 19 年 2 月 1 日 | 名古屋大学総合技術研究会、新技術職員の採用、図書費・技術開発費の執行、第 4 回業務報告会、平成 19 年度の業務の実施、系専門 |

委員会、系の送別会

3月に第6回の系業務調整会議を開催する予定である。

3.2 系専門委員会

系の業務の執行状況や課題、問題点を教員も交えて協議する系専門委員会を以下の様に開催した。

第1回 平成18年10月24日 平成18年度の系専門委員会の構成等、平成18年度の業務依頼申請書の受理状況、環境・安全技術系の業務の特徴、技術部及び環境系構成員の資格取得状況、今後の課題（専攻等と共通業務との業務のバランス、技術部の集中化への対応、退職者の補充問題）

3月に第2回の専門委員会を開催する予定。

4. 系に関わる研修等

4.1 研修

今年度、環境・安全技術系が関わった技術部の研修課題について以下に列記する。

工学部技術部研修

土壌埋戻材「フェロシルト」に含まれる放射性物質測定

釣田 幸雄、橋本 明宏

ICPによる実験系排水含有金属の元素分析

平墳 義正、斉藤 彰、藤谷 善照、柴田 敏之

これらの内容については、平成18年12月5日に開催された技術部研修会で発表され、本技報に掲載されている。詳細な内容は技報を参照して頂きたい。

名古屋大学総合技術研究会

名古屋大学における技術職員の採用時の安全衛生教育

大久保 興平、堀木 幹夫

名古屋大学における化学薬品管理の現状と課題

安田 啓司、藤森 英治、石田 慈子、青木 延幸、岡田 佳浩、千代谷 一幸、早川 正人、佐々木 康俊、松浪 有高

名古屋大学工学研究科における実験系排水管理の現状と課題

斉藤 彰、平墳 義正、柴田 敏之、藤谷 善照

これらの内容については、平成19年3月1、2日に開催される名古屋大学総合技術研究会で発表され、本技報に掲載されている。詳細な内容は技報を参照して頂きたい。

4.2 講習会

今年度は平成18年9月22日に、以下の内容で系の講習会を実施した。

作業環境測定について

宮嶋 伸好

消防法に関する危険物取扱い安全講習

斉藤 彰

これらの内容の詳細は本技報に掲載されているので、参照して頂きたい。

4.3 業務報告会

各人が実施している業務について、相互に理解を進めるために業務報告会を実施した。

四半期毎に系の半数づつが報告する形式で以下の日程で行った。この業務報告会で半年に1度各人が業務報告を実施することになる。

第1回 平成18年6月14日(水) 13:30~15:00

第2回 平成18年10月13日(金) 13:30~15:30

第3回 平成18年12月13日(水) 13:30~15:00

第4回 平成19年3月16日(金) 13:30~15:00(予定)

内容は半年の間に各自が実施した業務にスポットをあて、各人が困っていることや、考えていることを報告する。時間は概ね、報告10分、質疑5分程度。

業務報告会は実施から、2年を経過した。業務報告会を定期的を実施することにより、各人が行っている業務を他の系構成員に理解してもらうこと、定期的に業務を報告することにより、現在各人を行っている業務を点検・整理出来ること、小さいプレゼンを積み重ねることにより、まとまったプレゼン能力を磨ける等の効果が期待出来る。今後は、更に各人が置かれている専攻内、工学研究科内での位置づけ等にも各人が目を配れるような、より質の高い報告を求めていく必要がある。

(平成19年2月9日、脱稿)